



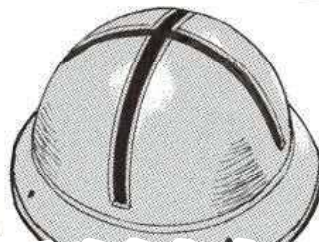
葛飾ブランド「葛飾町工場物語」

防災・災害復興への強い願いがこめられた
ゴム製防災グッズ

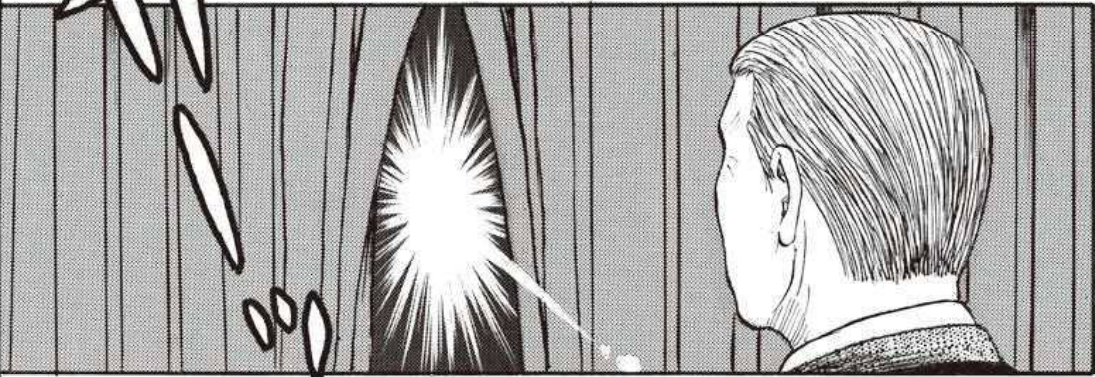
～間仕切りUFO～

株式会社 杉野ゴム化学工業所

作・桂田 健治



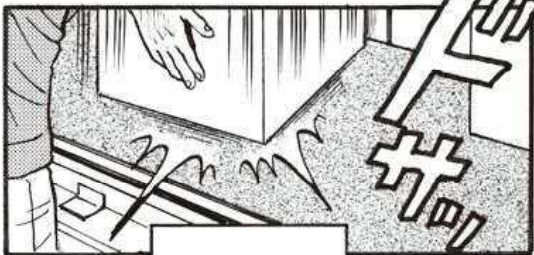
話はあの日に
さかのぼる



東日本大震災



2011年3月11日



間仕切りが
風で倒れて
困っている
らしい!

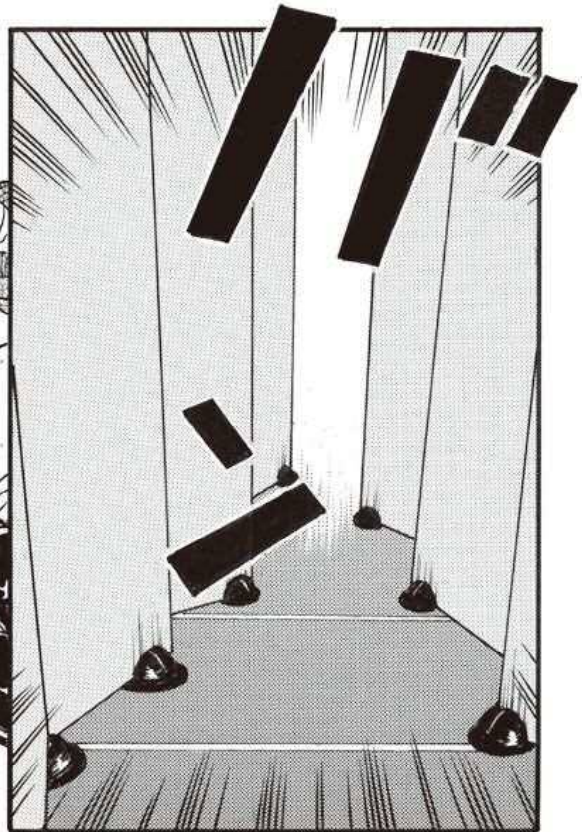
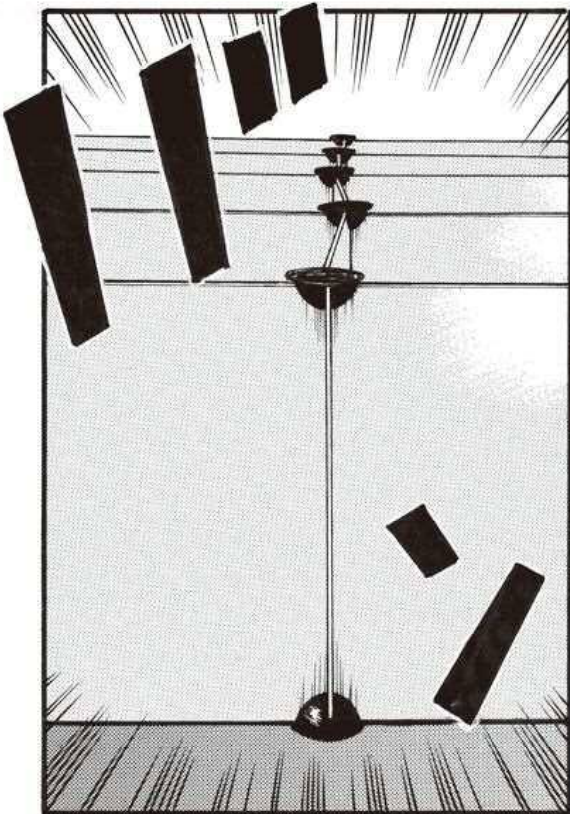
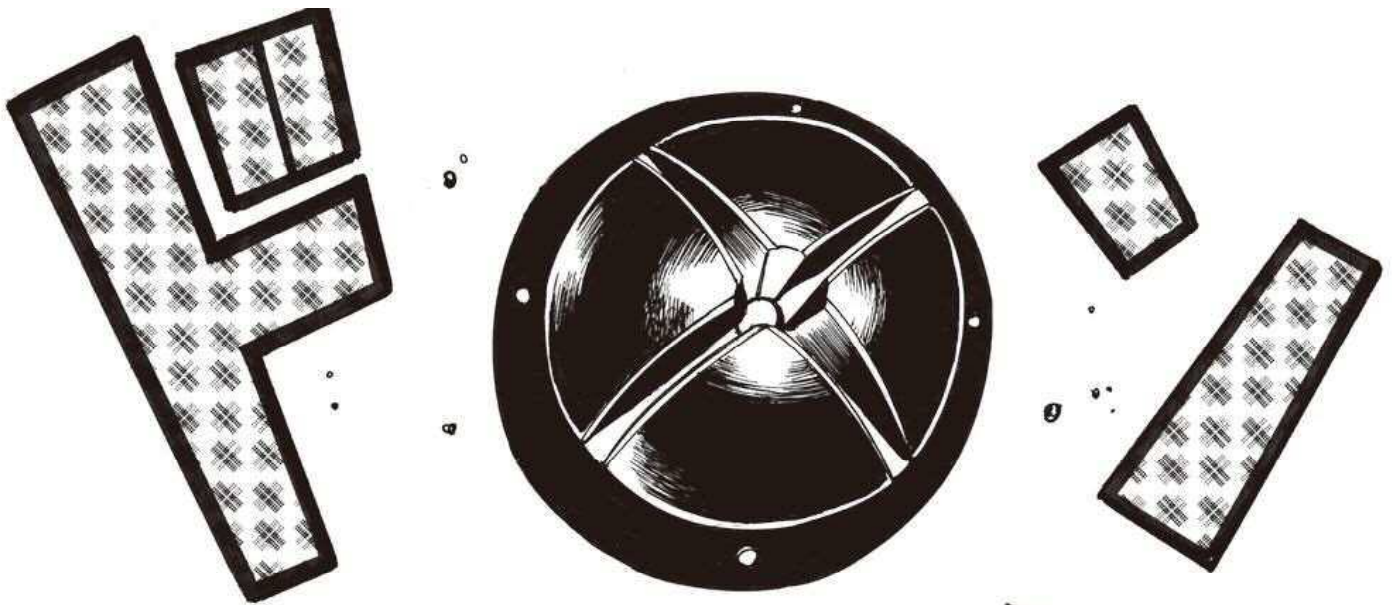
被災地の小学校の
仮設教室で

地震被害で
凸凹の東北道

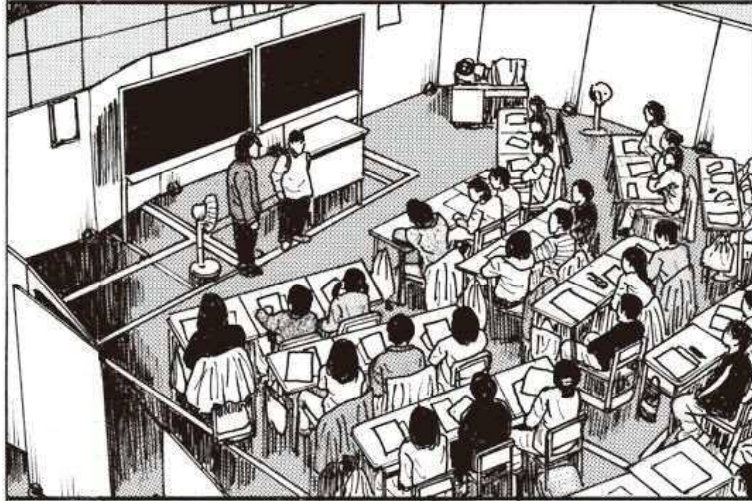
杉野社長は
防災活動に
熱心な友人と
翌日、現地に
出発した



その直後の4月某日
高飾区



マスコミにも
大きく報じられた
西多賀小学校の
「ダンボール教室」



震災により五・六年生の
校舎が使用不可になったが
「全校児童が揃って
新学期を迎えたい」という
希望でとった
苦肉の策だった

間仕切りUFOの
おかげで
段ボールが
安定し



より快適な
教室環境が
整った

(株)杉野ゴム
化学工業所



昭和31年創業
工業用ゴム製品
製造業

この
間仕切りUFOを
考えたのは

阪神大震災の
支援活動で
避難所を
訪れた時

間仕切りを
するという
考え方がなく
早いもの勝ちで
ブルーシートを
敷くという
感じで

お年寄りや
力の弱い人は
居場所がどんど
狭められて

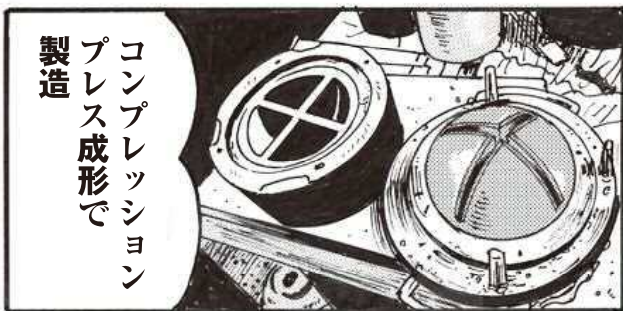
これは
なんとかせねばと
思った

杉野行雄社長

作り方は



コンプレッション
プレス成形で
製造



すべり止めの
裏面の
溝の部分は
角度で
滑りづらさが
変わるので

最も気を
配りました



ゴムであれば
一定の重さがあり

金属じゃないので
ぶつかっても
ケガの心配はない

放り投げれば

すばやく安全に
設置できる

平常時には
運動会の
ポール立てなどにも
使えます



西多賀小学校とは
その後も交流があり



震災の恐怖や
悲しみを少しでも
忘れてもらえればと

同社の
※シリコンゴム粘土を使った
ものづくり教室を
二度行った

その後
送られてきた
生徒ひとりひとりからの
感謝状は
大切な宝物です



※H21年度高飾ブランド認定製品

再び 西多賀小学校



杉野さんにお礼をしたいのですが



スラッ...

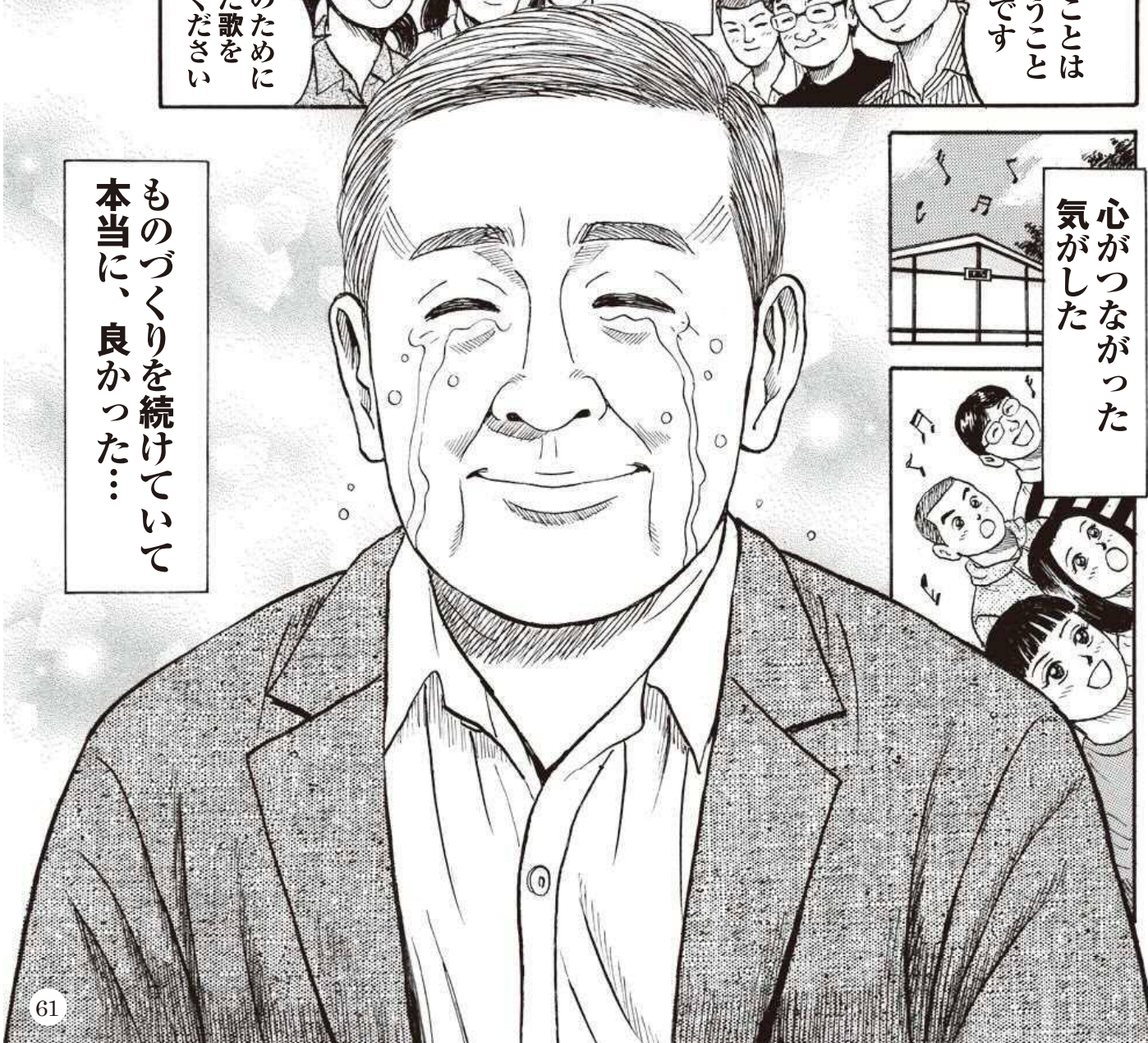
自分だけのために...



卒業式のために練習した歌を聞いてください



僕らにできることは歌を歌うことくらいです



ものづくりを続けていて本当に、良かった...



心がつながった気がした

